

平成31年1月三木市教育委員会（定例会）会議録

1 開催日程

- (1) 開 会 平成31年1月23日（水）午後3時00分
(2) 閉 会 平成31年1月23日（水）午後4時50分

2 場 所 三木市役所 5階 大会議室

3 議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名について
第 2 会議録の承認について
第 3 会議の非公開の決定について
第 4 協議事項10 平成31年度三木市教育の基本方針について
第 5 報告事項 平成30年度三木市スポーツ賞被表彰者の決定
について
第 6 報告事項 平成30年度三木市教育功労賞被顕彰者の決定
について
第 7 報告事項 各課の所管事項について
第 8 その他
第 9 次回定例会の開催日程について

4 出席者

教 育 長	西 本 則 彦
委 員	石 井 ひろ美
委 員	浦 崎 秀 一
委 員	大 北 由 美
委 員	實 井 政 治

5 欠席者 なし

6 事務局出席者

教育総務部長	石 田 英 之
教育振興部長	奥 村 浩 哉
教育振興部次長	岩 崎 恵

教育総務課長	五百蔵	一也
教育施設課長	長池	陽作
文化・スポーツ課長	森本	雅彦
学校教育課長	生田	淳仁
教育センター所長	大東	豊
教育・保育課長	正心	均
生涯学習課長	近藤	豊
図書館長	伊藤	真紀
教育総務課係長	能出	真一
教育総務課	澤田	静香

7 傍聴者 1人

開 会

教育長が、平成31年1月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長が、三木市教育委員会会議規則第28条の規定により、本日の会議の会議録署名委員に、大北委員と實井委員を指名した。

日程第2 会議録の承認について

教育長が、平成30年12月定例会（21日開催）の会議録について委員に諮り、全員一致で承認された。

日程第3 会議の非公開の決定について

教育長が、議事の進行について委員に諮り、公開で審議することを決定した。

日程第4 協議事項10 平成31年度三木市教育の基本方針について

○生田学校教育課長が次のように説明した。

平成31年度三木市教育の基本方針について、30年度からの変更

点を中心に説明する。編集のねらいとして、教育大綱及び三木市教育振興基本計画との整合を図り、県の「指導の重点」の主旨を尊重しつつ、三木市としての地域性及び独自性を打ち出すものとし、内容の修正、精査を行う。

冊子については、現在は2色刷りであるが、フルカラーでの印刷を検討している。

施策・実践・取組内容では、重要な部分は指差しマークで重点とし、2重丸は新しい項目、下線部は、31年度から文言等を修正した部分である。また、説明が分かりにくくならない範囲で、文章を短くしている。特別支援教育の充実の中の連携体制の強化では、文中に「切れ目なく」と記載することで一貫した支援を進める旨の意味を強調した。防災教育の充実では、今後発生が予想される、「南海トラフ巨大地震」の文言を記載した。まちづくりに着目したスポーツ振興では、今後3年間にわたるゴールデンスポーツイヤーズの取組を記載した。

今後は、今回の協議でいただいたご意見を事務局で検討し、2月に議案として提出する。議決後に印刷を行い、来年度に向けて各校園及び関係機関に配布する。

(浦崎委員) 11ページの英語教育の部分で、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能及び外国語の実践的な運用能力の育成とあるが、実際にどのようなことができているのか。

(生田学校教育課長) 三木市では、話せる英語教育に取り組んでいる。子どもたちにより良い英語教育を提供するため、教員一人一人が外国語指導についての研修を深めながら、ネイティブのALTとも連携し、授業を進めている。

(石井委員) 12ページの「全ての教育活動を通じた体験的な学習や課題学習による国際的視野に立ち、行動する資質と日本人としてのアイデンティティの育成」とあるが、どのような内容を指しているのか。

(生田学校教育課長) 現在、外国人の方々と触れ合う機会が多くなり、諸外国の様々なことについて調べる活動を通して、国際理解の教育を進めている。

一方で、日本の文化や伝統をしっかり踏まえた上で、諸外国に対する理解を深めていく活動を行うことを示している。もう少し分かり易い表現を検討したい。

(石井委員) 15ページの「特別支援教室への理解、啓発の推進」で、「ユニバーサルな授業づくり」とはどのようなことを指すのか。16ページの「教職員の資質及び指導力の向上」で、「接遇力の向上」を新たに追加した理由は何か。

(生田学校教育課長) 「ユニバーサルな授業づくり」については、配慮を要する子どもたちに不利益なく、みんなが等しく学べる授業づくりを進めている。

「接遇力の向上」については、三木市においても教職員の接遇は大きな課題であり、初任者だけではなく、全ての教員が、様々な接遇力を一般社会人の常識として身に着けるべきであることから、新たに追加した。

(實井委員) 学校業務改善推進委員会を通じ、「教職員定時退勤日」「ノー会議デー」「ノー部活デー」の完全実施とあるが、毎月の行事予定に退勤日の設定の記載がない学校があるが、きちんと行われているのか。

(生田学校教育課長) 記載がなくても、すべての学校で取り組んでいる。今後、各学校共に定時退勤日を記載する方向で調整する。

(大北委員) まず、全体に言えることとして、1点目に、すべてが体言止めであるため、文法的に問題のある箇所がある。「〇〇〇の充実」、「〇〇〇の推進」など、読み手にとって硬い表現になり、スローガンのようで分かりづらい印象を受ける。2点目に、実践項目の取組内容の並び順について、「重点項目」が最初に記載してあるため、カテゴリーで見ると、大小が逆転している箇所が見受けられる。大きな教育目標の実現に向けた取組項目から記載すべきではないか。

個々の内容として、10ページの「小学校へのスムーズな就学」のところで、幼児期と児童期の円滑な接続について、3項目挙げられているが、そこに「幼児期と児童期の円滑な接続を組織的に行う」

と追加してほしい。

12ページの「人権教育、子ども多文化共生教育の推進」で、校内人権研修実施に際し、市教委からの助言を求める旨の記載があるのはどういう意図か。学校現場は、教育委員会の指導助言によって学校教育を推進しているので、改めて記載する必要はあるのか。

(生田学校教育課長) 以前は、人権教育担当を市長部局の人権推進課に置いていたが、教育委員会に戻したことを強調する意図がある。

(大北委員) 13ページの「道徳教育の充実」において、学校教育についてはすべてのことに対して全職員が協力して推進する体制をとっているのに、あえて道徳教育のところに「全教職員が協力して推進する体制の充実」と記載したのはなぜか。

(生田学校教育課長) 今まで、道徳の授業の担当は担任教員であったが、教科化されたことから、より体制を整えた上で取り組んでいく必要があるため記載した。

(大北委員) 19ページの「地域及び家庭の教育力の向上」に関し、本題とは少し話が逸れるが、行政が主体となって実施する事業については、コンサートなどのみんなで楽しく過ごせるものばかりではなく、家庭教育の観点から、親の自覚を促すようなものも実施していただけたらと思う。

(西本教育長) 文章の表現については、短くすることを優先したことにより、意味が通じなくなっている箇所や取組内容の記載順等事務局で再度見直す必要がある。体言止めの表現については、文法的なところを精査した上で、今回については、このままいかせていただきたい。

日程第5 報告事項 平成30年度三木市スポーツ賞被表彰者の決定について

○森本文化・スポーツ課長が次のように報告した。

体育、スポーツの振興と発展に貢献された23人の方に対し、三木市スポーツ賞表彰規則第3条の規定に基づき、三木市スポーツ賞被表

彰者を決定した。

日程第6 報告事項 平成30年度三木市教育功労賞被顕彰者の決定について

○森本文化・スポーツ課長が次のように報告した。

各団体における指導者7人の方に対し、三木市教育委員会顕彰規則第4条の規定に基づき、教育功労賞被顕彰者を決定した。

日程第7 各課の所管事項について

(1) 教育施設課報告事項

○長池教育施設課長が次のように報告した。

学校園施設長寿命化計画策定業務委託については、改修を行う学校の優先順位付けを進めている。

吉川中学校高圧電気設備改修工事については、2月中に工事完了の予定であったが、丸一日停電が必要な工事となったため、工期を延長する。

三木中学校C I A教室空調機更新工事については、エアコンが故障し、古い機種のため、修理部品が無いことから機器の全面的な更新を行う。

東吉川小学校屋根防水修繕工事については、ガラス張り廊下部分のコーキングをやり直し、雨漏りを防ぐ工事を行う。

(2) 文化・スポーツ課報告事項

○森本文化・スポーツ課長が次のように報告した。

歴史講座④を1月13日に開催し、参加者は47人であった。

今後の予定として、三木市展をかじやの里メッセみきで1月31日から2月3日まで開催する。子どもたちの芸術鑑賞事業を文化会館大ホールで2月4日に開催する。スポーツ賞表彰式を教育センターで2月16日に開催する。

(3) 学校教育課報告事項

○生田学校教育課長が次のように報告した。

第10回定例校園長会を1月9日に開催した。市立学校園造形作品展を1月19日から21日まで開催し、来場者数は1991人であった。スキー実習を志染中学校、星陽中学校、緑が丘中学校が記載の日

程で実施した。

今後の予定として、第11回定例校園長会を2月6日に開催する。スキー実習を三木中学校、吉川中学校、三木東中学校、別所中学校が記載の日程で実施する。高校入試が、私立高校で2月9日に、公立高校の推薦・特色選抜が2月15日に実施される。

(4) 教育センター報告事項

○大東教育センター所長が次のように報告した。

CGアートコンテストの作品審査会を1月16日に実施し、381人、395点の応募があった。不登校対策適応教室事業は、12月末現在16人が在籍している。

今後の予定として、コグトレ教育を2月4日に開催する。適応教室でボルダリング体験を1月25日に開催する。

青少年センターの実施した事業として、年始特別補導と戎神社特別補導を記載の日程で実施した。今後の予定として、補導委員人権研修会を1月26日に開催する。

(5) 教育・保育課報告事項

○正心教育・保育課長が次のように報告した。

実施した事業として、カリキュラム検討委員会を12月25日に開催した。

今後の予定事業として、カリキュラム検討委員会を1月25日に市役所で、2月7日にあけぼの認定こども園で開催する。アフタースクール支援員研修会を1月25日に開催する。今年度最終の特定教育・保育施設第三者監査及び特定教育・保育施設第三者評価を記載の日程で実施する。保育者合同研修会を2月9日に開催する。

(6) 生涯学習課報告事項

○近藤生涯学習課長が次のように報告した。

実施した事業として、第71回三木市成人式を1月13日に開催し、参加者は601人であった。

今後の予定事業として、平成30年度三木市連合PTA指定校研究発表会を2月11日に三木山森林公園で開催する。

公民館の予定事業として、三木みらい会議を1月28日に志染町公民館で開催し、地域の将来について、意見交換を行う。

(浦崎委員) 第71回成人式に出席したが、私語が多くメリハリがなかった。

(石井委員) 抽選会は楽しみとして良いと思うが、特定の方に高価な賞品が当たり、一瞬で終わる企画には疑問を感じる。

(大北委員) 実行委員会にどの程度任せているのか。抽選会も、ただ引くだけではなく、抽選までのプロセスを考えるなど、市からのアドバイスも必要だったのではないかと。

(近藤生涯学習課長) 企画については、事務局も会議に参加して進めている。来年度の企画をする上でご意見を参考にし、実行委員と共に考えていきたい。

(7) 図書館報告事項

○伊藤図書館長が次のように報告した。

「吉川の魅力カルタ」を県立吉川高等学校から寄贈を受けた。青山図書館の「本のおたのしみ袋」の貸出は54人であった。DVD上映会を吉川図書館で開催し、参加者は12人であった。えいごのおはなし会を吉川図書館で開催し、参加者は24人であった。『探り出そう！ 椋鳩十の魅力の「宝箱」』を1月21日から2月22日まで吉川図書館で開催している。

今後の予定として、「かたくりの花写真展」と「花育イベント」を2月9日から17日まで中央図書館で開催する。手話でみんなのお話し会を2月17日に中央図書館で開催する。

その他定例で実施する事業は、記載のとおりである。

日程第9 次回定例会の開催日程について

教育長が、次回の教育委員会定例会の開催予定日程について諮り、平成31年2月20日、午後3時から開催することを決定した。

閉 会

教育長が、平成31年1月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。